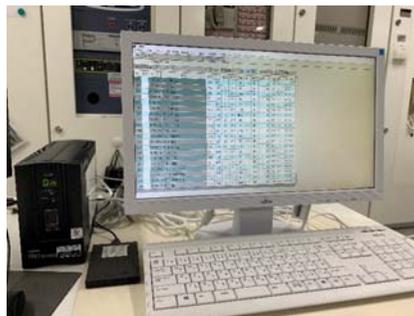


環境配慮への取組

1 ガスヒートポンプエアコンの更新

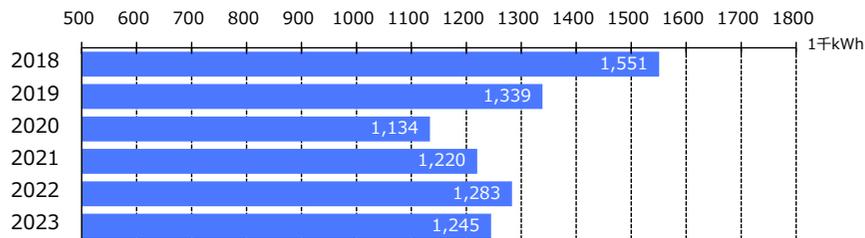
2022年～2024年に工期を3回に分け、校舎内の全てのガスヒートポンプエアコンを更新しました。旧機種と新機種とで比較すると、冷房の消費電力が1.18kw→0.65kw（▲45%減）、暖房の消費電力が1.33kw→0.45kw（▲66%減）となり、省エネに向けて大きな期待が持てる取組を行いました。また、エアコンの設定温度は防災管理センターにて集中管理を行っており、過度な温度設定による消費電力の浪費が発生しないよう節電努力をしています。



2 全館LED照明化による電気使用量の削減

地球温暖化対策への具体的な取組として2018年度に証明器具4千個のLED化を行い、2019年度には電力使用量を13.7%、電力料金を16.5%削減しました。2023年度の電力使用量は1,245kwhとなり、前年比3.0%の減少となっています。2018年度と比較すると19.7%の減少となっており、LED化による電気使用量の削減効果が出ております。

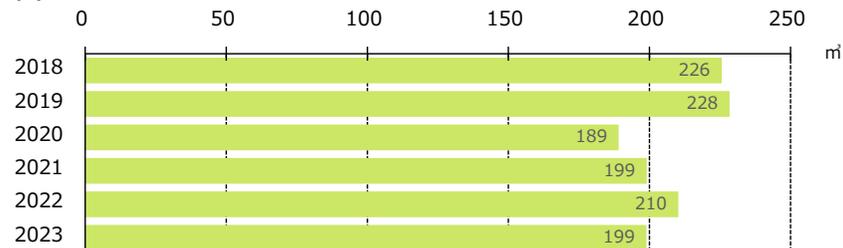
(a) 電気使用量



3 ガスの使用量の推移

2020年度は新型コロナウイルス感染症対策による大学閉鎖の影響を受け、各使用量は前年に比べ減少しました。また、施設予防保全の観点から、2024年春までに六本木キャンパスの高層棟に設置しているガスヒートポンプ更新工事を実施することでガス使用量を抑える取組を行っています。

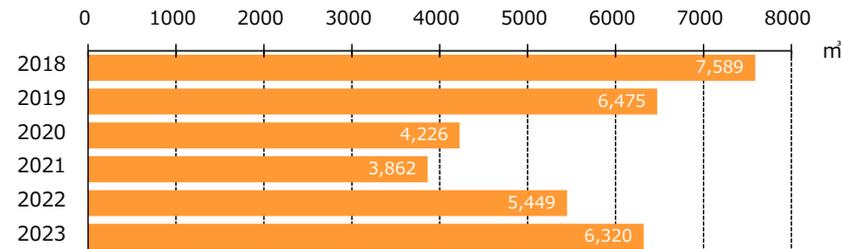
(b) ガス使用量



4 上水使用量の推移

2023年度は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、業務運営も復調し、6,320m³となっています。

(c) 上水使用量



5 CO2排出量の推移

2023年度は、上水使用量と同じく業務運営が復調したため、1,075 t (ト) となっています。

(d) CO2排出量

